

公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

I 法人の概要（令和5年4月1日現在）

1 所在地

北九州市小倉北区大手町11番4号

2 設立年月日

平成2年10月20日（平成25年4月1日 公益財団法人化）

3 代表者

理事長 堀内 光子

4 基本財産

329,346千円

5 北九州市の出捐金

300,000千円（出捐の割合 91.1%）

6 役員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	10人	0人	1人	9人
常 勤	1人	0人	1人	0人
非常勤	9人	0人	0人	9人
職 員	28人	5人	0人	23人

7 市からのミッション

- ① 日本及び他のアジア諸国の男女共同参画に関する調査研究、国際交流、情報収集・発信等を通じて、日本及び他のアジア諸国の女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、相互の発展に寄与する。
- ② 団体が有する国際的視点を備えた高い専門性や知識・情報、人的ネットワークなどを活用し、女性が活躍できる経済社会の実現など、本市における男女共同参画社会の形成の推進に寄与する。

II 令和4年度事業実績

《公益I事業：日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業》

令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、積極的にオンラインを活用する等により重要事業の継続的实施を図った。

調査・研究事業として、2組の客員研究員研究を選考するとともに、研究報告会をハイブリッド方式（会場、オンラインの併用）で実施した。アジアジェンダー研究者ネットワーク活動として、共同研究図書『変容するアジアの家族』の出版記念セミナーを開催した。

交流・研修事業としては、国際研修として、「行政官のためのジェンダー主流化政策」研修をオンラインで2回実施し、これまでの研修で築いたネットワークを活かし「アジア女性会議－北九州」を開催

した。

第 67 回国連女性の地位委員会 (CSW67) は、会議へのオンライン参加とともに、他の NGO が主催した
パラレルイベントに KFAW 職員が登壇 (オンライン) し、KFAW で毎年実施しているジェンダー主流化研
修の近年のオンライン研修の取り組みについて発表 (英語) を行った。

【調査・研究事業】

KFAW 客員研究員による調査研究を行うとともに、研究報告会の開催や研究誌の刊行によって研究成果
を公開し、研究者、市民等と共有した。また、KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動を活発化
させるとともに、キャリア形成のためのプログラム開発などを行った。

1 客員研究員研究

KFAW の調査・研究事業については、客員研究員への委託により時宜に適したテーマによる調査研究
を実施した。令和 4 年度は、2 組の客員研究員研究を選考した (調査期間: 令和 4 年度~令和 5 年度)。

ア R4/R5 年度 KFAW 客員研究員と研究テーマ

(ア) 『Women's Entrepreneurship Report』から見る世界と日本の女性起業家の変化

山陽学園大学地域マネジメント学部講師 建井 順子

(イ) 日本のエコフェミニストの系譜学

立教大学21世紀社会デザイン研究科兼任講師 ESD研究所研究員 森田 系太郎

イ 研究誌の刊行

KFAW 客員研究員等の論文を収録した研究誌『アジア女性研究』及び『KFAW 調査研究報告書』を
刊行した。

- ・ 『アジア女性研究』第 32 号 400 部
- ・ 『KFAW 調査研究報告書』 100 部

2022-1 COVID-19 による障害女性の日常生活への影響-バングラデシュを事例として-

ウ 研究報告会の開催

研究報告会を開催して、研究成果を市民、研究者などに発信した。

(ア) 第 35 回 KFAW 研究報告会

- ① 日時 令和 5 年 2 月 18 日 (土) 14:00~15:15
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ (オンライン配信及び会場視聴)
- ③ 報告内容、報告者

COVID-19 による障害女性の日常生活への影響-バングラデシュを事例として-

上智大学アジア文化研究所客員所員 金澤 真美

- ④ 参加者 70 名 (オンライン 61 名、会場視聴 9 名)

2 KFAW アジア研究者ネットワーク活動

ア アジアジェンダー研究者によるセミナーの開催

ジェンダーに関するさまざまな分野の研究者や実務者が、アジア地域を対象とする研究の成果に
ついて、市民を含む多くの人々と共有するため、セミナーを開催するとともに KFAW アジアジェン

ダー研究者ネットワーク活動の充実を図った。

(ア) 令和4年度第1回 KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー

- ① テーマ 「変容するアジアの家族」出版記念セミナー
- ② 日時 令和4年5月15日(日) 14:00~17:00
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ(会場参加及びオンライン配信)
- ④ 講師 北九州市立大学教授 田村 慶子
福岡県立大学教授 佐野 麻由子
福岡県立大学講師 坂無 淳
熊本大学教授 古田 弘子
- ⑤ 参加者 51名(会場8名、オンライン43名)
- ⑥ 内容 KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク有志で、「変容するアジアの家族」をテーマに共同研究を重ね、令和4年3月に共同執筆による研究図書を出版した。その出版記念セミナーを開催し、著者であるそれぞれの研究者からアジア諸国の家族の変容についてご講演いただいた。

イ キャリア形成のためのプログラム開発

大学生の卒業後の働き方や自己実現のために、男女共同参画や女性活躍の視点も踏まえ開発した「大学生のためのキャリア形成プログラム」を改訂し、市内4大学で9回、対面やオンデマンド方式で講義を行った。

3 ジェンダー平等の実現に向けた調査・研究事業(市からの委託事業)

市からの委託を受け、ジェンダー平等を実現するための重大な障害となる「性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に関する調査を市民3,000人に実施し、調査結果を分析した報告書を作成し、市へ提出した。

【交流・研修事業】

「第33回アジア女性会議ー北九州」や国際理解セミナー「ジェンダー平等の現状と国連女子差別撤廃委員会」などを開催した。

1 「アジア女性会議ー北九州」等の国際セミナーの開催

ア アジア女性会議ー北九州

オンラインで7月7日にイベントとして「モルドバに避難したウクライナの女性と子どもたち」を開催し、9月30日に「みんなでフェミニストとして世界を旅しよう!~SDGs チャレンジと共に~」と題し、本会議を開催した。イベントは、KFAWのネットワークを活用し、ウクライナ隣国モルドバの最新の支援状況をレポートし、本会議では2023年度のSDGs中間年にあわせ、ブータン、マラウイ、モルドバ、フィジーから4か国のゴール5への課題や成果を発表した。

- (ア) 『第33回アジア女性会議ー北九州』イベントの開催
「モルドバに避難したウクライナの女性と子どもたち」

- ① 日時 令和4年7月7日(木) 15:30-17:00
- ② 場所 オンライン配信 (Zoom)
(視聴会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ)
- ③ 参加者 183名 (オンライン)
- ④ 登壇者 杉本 聡 ((独)国際協力機構 (JICA)) ウクライナ・フィールドオフィス
首席駐在員)
ヴラディミル・ネグラ モルドバ内務省 警察総監庁
国際関係・欧州問題局 局長
ロディカ・ザドニプル モルドバ国会事務局
支援と戦略開発部上級コンサルタント

(イ) 『第33回アジア女性会議—北九州』の開催

「みんなでフェミニストとして世界を旅しよう! ~SDGs チャレンジと共に~」

- ① 日時 令和4年9月30日(金) 14:00 - 16:30
- ② 場所 オンライン配信 (Zoom)
(視聴会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ)
- ③ 参加者 138名 (オンライン135名、会場3名)
- ④ 登壇者 セシリア・ファンタスティコ ジェンダー専門家/フィリピン
1 か国目: ブータン王国
ウゲン・ツォモ 女性と子ども国家委員会 女性部チーフプログラムオフィサー
2 か国目: マラウイ共和国
ジョセフ・カレロ・フィリ ジェンダー開発主任
アリック・カテンガ・ムンサリ コタコタ県担当ジェンダーオフィサー
ハンナ・キシヨンベ 地区ジェンダー担当官
カツツ・リラニ・ハンナ・カルワ ジェンダー開発オフィサー
(以上、ジェンダー・子ども・障害者・社会福祉省 ジェンダー問題部所属)
3 か国目: モルドバ共和国
ヴラディミル・ネグラ 内務省 警察総監庁 国際関係・欧州問題局 局長
ロディカ・ザドニプル 国会事務局 支援と戦略開発部 上級コンサルタント
4 か国目: フィジー共和国
シャミム・ザフィヤ フィジー道路局 コミュニケーション部
コミュニケーションと社会セーフガード担当官
- ⑤ 事後配信 YouTube 配信、一部動画は HP 掲載
- ⑥ 報告書の作成

イ 国際理解促進事業

国連女子差別撤廃委員会委員、亜細亜大学教授 秋月弘子氏を招き、日本におけるジェンダー「不」平等の現状、国連女子差別撤廃委員会(CEDAW)の役割など、10月にジュネーブで開催された CEDAW 第83会期の最新情報も含めて広く市民に知ってもらうためのセミナーを開催した。

また、令和5年3月に開催された第67回国連女性の地位委員会(CSW67)では、会議へのオンラ

イン参加とともに、日本の NGO が主催した NGO フォーラム・パラレルイベントに KFAW 職員が登壇（オンライン）し、KFAW で実施している途上国でのジェンダー主流化研修の取り組みについて発表を行った。

(ア) 第 66 回国連女性の地位委員会（CSW66）報告会

① 報告内容

1) CSW66 について

<優先テーマ>

「気候変動、環境および災害リスク削減の政策・プログラムにおけるジェンダー平等とすべての女性・少女のエンパワーメントの達成」

<レビューテーマ>

「変化する仕事の世界における女性の経済的エンパワーメント(CSW61 の合意結論)」

2) NGO CSW66 パラレルイベントについて

<テーマ>

「Youth talk: action for climate justice ,disaster prevention & gender equality」

② 日時 令和 4 年 6 月 10 日（金） 14:00～15:45

③ 場所 オンライン配信（Zoom）（視聴会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ）

④ 報告者（CSW66 の会議概要報告）

堀内 光子（KFAW 理事長）

⑤ 発表者（パラレルイベントの発表者報告）

森 友里歌（北九州市立大学大学院国際環境工学研究科 博士課程学生）

大村 昭子（北九州市危機管理室防災連携担当係長）

加藤 尊秋（北九州市立大学国際環境工学部環境生命工学科 教授）

対談 鄧 心怡（台中市政府社会局）

⑥ 参加者 60 名（オンライン 58 名 会場視聴 2 名）

⑦ 事後配信 YouTube 配信 令和 4 年 6 月下旬より 1 ヶ月程度

(イ) 国際理解セミナー「ジェンダー平等の現状と国連女子差別撤廃委員会」

① 日時 令和 4 年 11 月 12 日（土）14:00～16:00

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
会場参加、オンライン配信（Zoom）

③ 講師 秋月 弘子（亜細亜大学教授、国連女子差別撤廃委員会委員）

④ 参加者 60 名（会場 27 名 オンライン 33 名）

(ウ) 国連ウィメン日本協会北九州 講演会「女性・少女の人権を守るために私たちに何ができるのか—ジェンダー平等を達成するために国際法はどう役立つか—」【共催事業】

① 日時 令和 4 年 12 月 11 日（日） 14:00～15:45

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
会場参加、オンライン配信（Zoom）

③ 講師 二宮 正人（北九州市立大学法学部教授・副学長）

④ 参加者 120 名（会場 97 名 オンライン 23 名）

- ⑤ 主催 国連ウィメン日本協会北九州
- ⑥ 共催 (公財) アジア女性交流・研究フォーラム

ウ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

高校生が将来に向けて自己実現やジェンダー平等を考えるためのセミナーを実施した。

(ア) 高校生キャリア形成セミナー（北九州ひとみらいプレイスとの共同実施）

高校生セミナー「ジェンダーを考える夏 2022」

- ① 内容 高校生がジェンダーに関するワークショップを通じてSDG5(ジェンダー平等及び女性・少女のエンパワーメント)について学び、課題を共有し、ポスター作成と発表を行った。
- ② 日時 令和4年8月21日(日) 14:00~16:30
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ④ 企画運営 北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習生
- ⑤ 参加者 高校生7名(公募)

(イ) ジェンダー問題探究学習成果発表会「未来をひらくあなたに」(北九州市立男女共同参画センター・ムーブ主催、フォーラム共催)

- ① 内容 市内4校の高校生有志28名が約4ヶ月にわたり自ら課題を見つけ、その課題を解決する過程で様々な気づきや知識を得ていく探究学習を行い、その成果発表会を開催した。
- ② 日時 令和4年11月12日(土) 13:00~15:40
- ③ 場所 北九州市立大学北方キャンパス
- ④ 企画運営協力 北九州市立大学地域共生教育センター
- ⑤ 参加者 83名(うち高校生28名)

2 海外拠点ネットワークの形成

SDGs達成への取り組みを通じて、目標5を主とした海外拠点ネットワーク形成を目指し情報共有を図るため、フォーラムの活動内容をホームページで紹介した。

3 海外派遣

令和5年3月にニューヨークで開催された第67回国連女性の地位委員会(CSW67)への参加登録の機会を当財団の関係者に提供した。なお、本会合は、対面とオンラインのハイブリット形式で行われた。

【情報収集・発信事業】

ウェブニューズレター『Asian Breeze』の配信、ホームページ、SNSなどを活用しながら、アジア地域の女性に関する情報収集・発信やフォーラムの活動についての情報発信を行った。

1 ウェブニューズレター『Asian Breeze』等の配信・発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報発信し、ジェンダー問題に対する理解の浸透を図っていくため、ウェブニューズレター『Asian Breeze』(日本語・

英語版)を配信した。

また、KFAWの年間事業報告書『令和3(2021)年度 年報』を発行した。

ア ウェブニューズレター『Asian Breeze』(日本語版、英語版)の配信

- (ア) 第92号 令和4年8月
- (イ) 第93号 令和5年1月
- (ウ) 第94号 令和5年2月
- (エ) 第95号 令和5年3月

イ 年間事業報告書の発行

KFAWの年間事業報告書『令和3(2021)年度 年報』を発行した。

- (ア) 発行部数 250部
- (イ) 発行時期 令和4年8月

ウ ホームページ、Facebook、Twitter、Instagram アクセス等件数	922,678件
(内訳) ホームページ(日/英)	194,902件
Facebook(日/英)	123,946件
Twitter(日/英)	576,003件
Instagram(日/英)	27,827件

2 海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外のジェンダー平等に関わる最新の状況について情報収集を行い、「KFAWランチタイムトーク」の実施やホームページ、SNSなどを通じて情報発信を行った。

ア KFAWランチタイムトーク

(ア) 第1回 KFAWランチタイムトーク(ラオス)

- ① 日時 令和5年1月25日(水)12:10~12:40
- ② 場所 オンライン配信
- ③ 出演者 森重 千里 (JICA海外協力隊経験者 ラオス赴任)
- ④ 参加者 62名

(イ) 第2回 KFAWランチタイムトーク(タイ)

- ① 日時 令和5年2月20日(月)12:10~12:40
- ② 場所 オンライン配信
- ③ 出演者 永崎 公志朗 (JICA海外協力隊経験者 タイ赴任)
- ④ 参加者 51名

(ウ) 第3回 KFAWランチタイムトーク(トンガ王国)

- ① 日時 令和5年3月15日(水)12:10~12:40
- ② 場所 オンライン配信
- ③ 出演者 内野 里香 (JICA海外協力隊経験者 トンガ王国赴任)
- ④ 参加者 35名

【国際研修事業】

1 JICA 研修 行政官のためのジェンダー主流化政策 2022

開発途上国におけるジェンダー主流化の政策立案や推進が可能な行政官を育成する国際研修を独立行政法人国際協力機構九州センター（JICA 九州）から2回受託し、オンラインで「行政官のためのジェンダー主流化政策」研修を実施した。受託予定だった、ブータン国内の女性や子どもの保護とケアの担当保護官向けの「ブータン・女性と子どもの保護とケア」研修は、相手国の事情により延期となった。

ア 研修概要

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2022 (A) >

- (ア) 期間 令和4年6月7日(火)~7月4日(月)
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 研修員 5カ国7名（パキスタン、スリランカ、ザンビア、ブータン、ケニア）

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2022 (B) >

- (ア) 期間 令和4年10月25日(火)~11月21日(月)
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 研修員 3カ国8名（ガーナ、マラウィ、パキスタン）

イ 市民交流会の開催

市民である北九州市立大学生と交流会を開催し、学生による発表や研修員との意見交換を2回実施した。

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2022 (A) >

- (ア) 日時 令和4年7月1日(金) 14:30-16:30
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 参加者 42名

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2022 (B) >

- (ア) 日時 令和4年11月16日(水) 17:00-19:00
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 参加者 30名

【大学生・高校生による体験学習等の受入】

ア 青山学院大学「地域実習」

- 時期：令和4年7月5日(火)~9日(土) 5日間
- 参加者：青山学院大学コミュニティ人間学部3年生 7名
- 指導者：青山学院大学地域実習担当教官 大島 まな（九州女子大学人間科学部教授）
- 内容：フォーラム・ムーブの事業と実習

イ 福岡県立小倉高等学校（オンライン校外学習）

- 時期：令和4年9月22日(木) 9:30~12:00
- 参加者：小倉高等学校第1学年 生徒27名
- 内容：SDGs とジェンダー平等、フォーラム、ムーブの取組み

ウ 青山学院大学「女性活動支援プログラム」履修学生の研修

時 期：令和 5 年 1 月 16 日（月） 10：00～12：00

参加者：青山学院大学コミュニティ人間科学部第 2 学年 学生 7 名

指導者：青山学院大学コミュニティ人間科学部 准教授 本庄 陽子

内 容：フォーラム・ムーブの事業と実習

エ 京都市立西京高等学校「地域実習」

時 期：令和 5 年 3 月 6 日（月） 13：00～15：00

参加者：京都市立西京高等学校第 1 学年 生徒 39 名

内 容：ジェンダー平等とフォーラム・ムーブの取組みについて

《公益Ⅱ事業：男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を推進する事業》

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成 18 年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者として培った経験や地域との関係を踏まえ、令和 4 年度においても男女共同参画社会の推進を担う拠点施設としての各種事業を実施した。

事業実施にあたっては、「第 4 次北九州市男女共同参画基本計画」を踏まえながら、国連が定めた地球規模の行動計画である持続可能な開発目標（SDG s）の達成に向けて、

- ① ジェンダー主流化
- ② 就業に関する女性のエンパワーメント（能力構築）
- ③ 固定的な男女の役割分担意識の解消
- ④ 若い世代の男女共同参画意識の向上

等を重点に、ジェンダー問題の解決に向けた「市民をはじめ不特定多数の利益の増進に寄与する」公益目的事業を実施した。

【指定管理事業】

1 男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、相談事業、情報事業、施設管理業務を行った。

また、KFAW で開発したキャリア形成プログラムを、KFAW の成果を活かして、平成 28 年度からムーブで実施している。

ア 男女共同参画事業（9 事業、参加延人数 1,839 名）

(ア) 男女共同参画講座（4 事業、参加延人数 1,418 名）

男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について啓発を行い、取り組みを促進した。

① 男女共同参画啓発講座

(a) 「日本の政治は「女性のいない民主主義」～ ジャーナリストが読み解くジェンダーギャップ」
講師：浜田 敬子（元 AERA 編集長／ジャーナリスト）

(b) ムーブ映画祭

映画『妻への家路』

上映会&樋口 智巳さん（小倉昭和館 館主）と 恵美さん（松永文庫 学芸員）によるトークイ

ベント

(c) 出前講座（門司生涯学習センター大里分館）

「男女共同参画の実現を目指して～幸せを呼ぶには競争原理から協同原理へ～」

講師：中島 俊介（西南女学院大学 教授・北九州市立大学 名誉教授）

(d) 出前講座（八幡東生涯学習センター尾倉分館）

「伝わる話し方でプラスに変わるコミュニケーション

～声と言葉を磨いてあなたらしさが輝く未来を～」

講師：藤重 知子（合同会社ふじこカンパニー代表、声と話し方コンサルタント）

② おとこのライフセミナー

「コロナを転機に！たった一度の人生を変える勉強をしよう」

講師：藤原 和博（「朝礼だけの学校」校長、元リクルート社 フェロー）

③ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

「ジェンダーを考える夏 2022」（KFAW 共催事業・再掲）

企画・運営 北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習生

④ 語学講座（英会話）

(1) 生活技術講座（5 事業、参加延人数 421 名）

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

① 男性向け講座（エプロン男子、父と子の食育講座、介護男子）、おとこの魅力アップシリーズ（中国茶男子、育児男子、靴磨き男子、身だしなみ男子、時短料理男子、出前講座「メンズご飯！」、出前講座「男のたしなみ～ハーブティ編～」ほか）

② 親子木工教室

イ 女性のエンパワーメント事業（11 事業、参加延人数 3,362 名）

女性の継続的な就業やキャリアアップのための支援を行うとともに、企業、地域等様々な分野での意思決定過程への女性の参画を進めるため、指導的な地位へ成長していく層の育成支援を行った。

(7) 働く女性のためのフォローアップ・ネットワーク形成

① 働く女性のためのフォローアップセミナー

「私らしく働く時間管理術」

講師：内田 ひとみ（株式会社 HUGRES 代表、キャリアコンサルタント）

② ムーブカフェ

実施回数：2 回

講師：園田 理恵（九州電力株式会社 福岡支店 福岡営業所長）【オンライン開催】

土谷 和子（株式会社ゼンリン 総務人事部部長）

(1) 働く女性に贈る！お役立ちワンポイントセミナー

(ウ) キャリア形成プログラム（再掲）

① 九州国際大学

実施回数：5 回

講師：大島 まな（九州女子大学・九州女子短期大学 地域教育実践研究センター 所長）

仙波 亮一（京都橘大学 経営学部 准教授）
山脇 直祐（日本経済大学 経済学部経済学科 講師）
湯浅 壘道（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授）

② 九州女子大学

実施回数：1回

講師：松本 幸一（九州国際大学 法学部 教授）

③ 九州共立大学

実施回数：2回【オンデマンドによる講義】

講師：松本 幸一（九州国際大学 法学部 教授）

山脇 直祐（日本経済大学 経済学部経済学科 講師）

④ 西南女学院大学

実施回数：1回

講師：大島 まな（九州女子大学・九州女子短期大学 地域教育実践研究センター 所長）

ロールモデル：土谷 和子（株式会社ゼンリン 総務人事部 部長）

(エ) 資格取得講座（介護事務講座、医療事務講座など）

(オ) パソコン講座

ほか

ウ 生涯を通じた女性の健康支援事業（4事業、参加延人数 5,728名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家庭や職場など日常生活の中で、維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

(ア) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座

「映画『17歳の瞳に映る世界』から考える～子どものリアルに寄り添う性教育って？～」

講師：松本 麻子（北九州市障害者基幹相談支援センター小児慢性特定疾病支援室長
／相談担当課長）

(イ) 健康講座

①心も身体もリフレッシュ！シェイプアップヨガ

②冷えにさよなら！リラックスヨガ

③ニュースポーツ健康教室

④楽しく踊ろう健康ダンス教室

(ウ) いまどきママのリフレッシュ講座

(エ) フィットネスルームの個人利用

エ 市民活動支援・連携事業（4事業、参加延人数 513名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア) ムーブ学生生活動プロジェクト（北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習）

- (イ) ムーブサポーター事業
- (ウ) 人権を考える企業のつどい
- (エ) 子育て支援の“いま”を知る！2023

オ ムーブフェスタ 2022

全体のテーマが「創る」、キャッチコピーは「創り出そう 新しい未来 ムーブから」とし、市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、講演会、イベント等の事業を行った。

期間 令和4年7月2日（土）～令和4年7月23日（土）
 参加延人数 34,970人（うち男性 8,029人）

(ア) 主催事業（4事業）

① オープニングイベント 講演会

「浅く広くゆるくつながろう～Let's まぜこぜ～」

講師：東 ちづる（俳優、一般社団法人 Get in touch 代表）

② イベントステージ

「音楽とダンスで創る世界のステージ～バリ舞踊・フラダンス・フラメンコの“響演”～」

スペインのフラメンコ、ハワイのフラダンス、インドネシアのバリ舞踊の躍動感に満ちたステージ

③ 行列のできる！？法律相談Q&A

④ マガジンリサイクル

(イ) 市民企画事業

総事業数 96事業（イベント57事業、サマーカーニバル11事業、フリーマーケット28事業）

カ 相談事業

心の問題や生き方、性別による人権侵害、就労や法律に関する相談等について、相談室相談員をはじめ臨床心理士、キャリアコンサルタント、弁護士がジェンダーの視点に立って相談に応じた。また、離婚に関する男女の法律基礎講座、内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」に連動した特別講座、福岡県弁護士会北九州部会との共催によるホットライン事業等を実施した。

(ア) 相談

こころと生き方の一般相談・性別による人権侵害相談・女性のための元気アップ相談（就労）・男性のための電話相談・女性のための無料法律相談等

区 分	電話	面談	メール等	合 計	
こころと生き方一般相談	3,547件	33件	16件	3,596件	4,279件
ライン相談(3か月間) 受託・モデル事業	—	—	54件	54件	
人権侵害相談	187件	2件		189件	
女性の法律相談	—	157件		157件	
女性のための 元気アップ相談	125件	62件		187件	
男性電話相談	96件	—		96件	

(イ) 講座（4 講座、参加延人数 111 名）

- ① 女性のための離婚に関する法律基礎講座
- ② 男性のための離婚に関する法律基礎講座（講義編・個別相談編）
- ③ 女性への暴力ゼロ運動特別講座
『若年女性の今（リアル）～夜の公園に居場所を求めて～』
- ④ 単発講座
『男性のためのアンガーマネジメント～イライラ・モヤモヤとのつきあい方と伝え方～』

(ウ) ホットライン（相談件数 23 件）

福岡県弁護士会北九州部会、配偶者暴力相談支援センターとの共催で、弁護士等が女性の人権侵害等に関する相談に電話で応じた。

- ① 女性の権利ホットライン【内閣府「男女共同参画週間」事業】
- ② 女性への暴力ゼロ！ホットライン【内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」事業】

(エ) その他啓発

- ① パネル展示
・デートDV防止「大切にしよう、自分のこと」
・DV防止「身体的暴力だけがDVではありません」
- ② 「女性に対する暴力をなくす運動」街頭啓発キャンペーン（小倉駅前広場）

キ 情報事業

(ア) 情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの施設・講座等の情報をホームページ、Facebook やインスタグラム、ムーブメール等により提供した。

① 図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD 等の収集・提供の充実を図った。

(a) 蔵書数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

図書 56,586 冊、雑誌 5,030 冊、DVD115 本

② 図書・資料等の提供（貸出等）

図書の貸出・返却及び利用者並びに資料の登録・検索、図書統計資料の作成等に関する管理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書館共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。

(a) 図書情報室利用状況（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 31 日）

貸出冊数 33,671 冊、貸出者数 12,636 人

(b) 親子を対象に絵本の読み聞かせをする「おはなし会」の開催 ほか

③ 男女共同参画関連情報の収集・提供

(a) 団体情報（ムーブネット）の収集提供

男女共同参画社会の実現のために市内及び近郊で活動している団体（グループ）の情報を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。

登録件数 62 件（令和 5 年 3 月 31 日）

④ その他の情報提供

(a) ホームページ・Facebook・Instagram

ムーブの講座、イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページ等で提供した。

ホームページ、Facebook、Instagram アクセス件数

（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 31 日）

ホームページ 208,364 件 Facebook 22,540 件 Instagram 6,593 件

(b) ムーブメール（メールマガジン）

ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を月 1 回配信した。

ムーブメール登録者数 393 人（令和 5 年 3 月 31 日現在）

(イ) 調査研究事業

① ジェンダー問題 調査・研究支援事業

(a) 令和 3/4 年度ジェンダー問題 調査・研究支援事業

ジェンダー問題を自主的に調査研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者等を支援するために、その調査費の一部（1 年目 上限 30 万円・2 年目 上限 20 万円）を助成した。令和 4 年度は、基礎調査（インタビュー調査）の分析・研究を行う支援をした。研究テーマに沿って調査・研究を行い、令和 5 年 3 月に調査・研究結果をまとめた報告書を発行した。

・テーマ：「女性管理職のキャリア形成 ―皮むけた経験を探る―」

・研究者：徳永 彩子（熊本学園大学 商学部 准教授）

所 吉彦（岐阜協立大学 経営学部 教授）

② ジェンダーに関する啓発冊子の発行事業

(a) 冊子『育休・産休取得者だけの問題じゃない！パパの子育て応援 NAVI』発行

主に市内の民間企業で働く 20～40 代前後の子育て世代に向けて、改正した育児・介護休業法について解説する『産休・育休取得者だけの問題じゃない！パパの子育て応援 NAVI』を発行した。

・発行部数 2,500 部

・体裁等 A4 判

(b) 『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』のデータの一部をホームページに掲載し、随時更新した。

③ 男女共同参画に関する啓発事業

ムーブが発行した啓発冊子の活用と広報をテーマとした講演会や研修会を実施した。

(a) 男女共同参画啓発事業「未来をひらくあなたに」

令和 3 年度に発行した男女共同参画啓発冊子『未来をひらくあなたに』の発行を機に、若者が主体的にジェンダー問題について学び考える機会を提供するため、市内 4 校の有志高校生を対象に、約 4 カ月間ジェンダー問題についての探究学習を行った。また、探究学習の成

果を広く市民に対し発表した。

企画運営協力：北九州市立大学地域共生教育センター

参加高校生： 福岡県立北筑高等学校、西南女学院高等学校、明治学園高等学校、
国立高等専門学校機構北九州工業高等専門学校の有志 28 名

参加大学生： 北九州市立大学の有志 13 名

・キックオフイベント（参加者 32 名）

講師：下田 泰奈（北九州市立大学 地域創生学群 特任教員）

淵上 洋平（ちとせ労務管理事務所 代表）

石川 敬之（北九州市立大学 地域共生教育センター 副センター長）

・探究学習

実施回数：北筑高等学校・北九州工業高等専門学校合同の 3 チーム 全 11 回

明治学園高等学校の 2 チーム 全 11 回

西南女学院高等学校の 1 チーム 全 12 回

・成果発表会（参加者 83 名）

講師：吉村 千恵（尚絅大学短期大学部 総合生活学科 講師）

田端 亮平（北九州市 総務局 女性の輝く社会推進室 男女共同参画推進課長）

石川 敬之（北九州市立大学 地域共生教育センター 副センター長）

(b) 大学生・高校生による体験学習等の受入

・奈良県立国際高等学校生徒の学習成果発表および意見交換（オンライン）

時 期：令和 4 年 5 月 27 日（金） 14：00～15：30

参加者：奈良県立国際高等学校第 3 学年 生徒 5 名

内 容：ジェンダー問題に関する学習の成果発表および意見交換

・青山学院大学「地域実習」

日 時：7 月 5 日（火）～9 日（土） 5 日間

参加者：青山学院大学コミュニティ人間科学部第 3 学年 学生 7 名

指導者：大島 まな（青山学院大学 地域実習 担当教員）

内 容：フォーラム・ムーブの取組みとムーブフェスタ市民企画事業参加団体との交流・
意見交換等

・北九州市立大学インターンシップ

日 時：9 月 7 日（水）～9 日（金） 3 日間

研修生：北九州市立大学 学生 2 名

内 容：フォーラム・ムーブの業務の説明と体験

・福岡県立小倉高等学校体験活動「フィールドリサーチ」

日 時：9 月 22 日（木） 9：30～12：00

参加者：福岡県立小倉高等学校第 1 学年 生徒 27 名

内 容：SDGs とジェンダー平等、フォーラム・ムーブの取組み

・青山学院大学「女性活動支援プログラム」履修学生の研修

日 時：令和 5 年 1 月 16 日（月） 10：00～12：00

参加者：青山学院大学コミュニティ人間科学部第2学年 学生7名

指導者：本庄 陽子（青山学院大学 コミュニティ人間科学部 准教授）

内 容：フォーラム・ムーブの取組みと北九州市男女共同参画センターの施設見学、北九州市を中心とした男女共同参画の現状についての座学

・京都市立西京高等学校「フィールドワーク」

日 時：3月6日（月） 13：00～15：00

参加者：京都市立西京高等学校第1学年 生徒39名

内 容：ジェンダー平等とフォーラム・ムーブの取組みについて

(c) ジェンダー問題にかかる出前研修

・北九州市立大学「キャンパス SDGs」でのレクチャー

日 時：令和4年6月25日（土） 15：25～16：10

参加者：北九州市立大学第1学年 学生20名

内 容：SDGs ゴール5についてのレクチャー、グループワーク、発表

・三井住友信託銀行北九州支店職員研修

日 時：11月16日（水） 16：30～17：15

参加者：三井住友信託銀行北九州支店職員 8名

内 容：地域で働く経験や意義について、意見交換を交えつつ講話

・福岡県立北筑高等学校「総合的な探究の時間」における課題研究の成果発表会

日 時：令和5年3月15日（水） 13：15～15：15

参加者：福岡県立北筑高等学校第1・2学年 生徒510名

内 容：代表生徒6名による「総合的な探究の時間」における課題研究の成果発表、ムーブ職員含む6名より講評

(ウ) 広報事業

① 情報誌『ムービング』の発行

(a) 発行日 97号 令和4年6月10日

98号 令和4年10月10日

99号 令和5年2月28日

(b) 発行部数 各号6,500部

ク 施設管理業務

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面や新型コロナウイルス感染症対策にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

(7) 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED操作研修等）などの職員研修を実施した。

またホールの客席のクリーニングなど、施設利用における環境整備に努めた。

新型コロナウイルス感染症対策としては、受付への飛沫防止シートの設置や1階におけるサーモカメラによる来場者への検温、及び各フロアへの消毒薬の設置などを実施した。

(イ) 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った。(原則有料)

・令和4年度貸室利用人数 89,562人

《参考：総利用者数 164,219人(うち主催事業参加延人数 74,657人)》

(ウ) その他

① 視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。

・視察件数 11件、延人数 152人

② 講師派遣

各団体からの依頼に応じ、ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。

・派遣件数 24件、延人数 2,292人(うち11件 1,024人 ハラスメント出前講座)

【自主事業】

1 男女共同参画センター自主事業

ア 男女共同参画講座(英会話)

イ 就業支援講座(医療事務講座、介護事務講座、パソコン講座 等)

ウ 生活技術講座(夏休み親子木工教室)

エ 健康講座(シェイプアップヨガ 等)

《その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業》

北九州市大手町ビル(北九州市立男女共同参画センター以外)の施設・設備の保守点検及び修繕による維持管理、並びに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

《その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業》

北九州市立男女共同参画センターにおいて指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

《法人事業》

理事会・評議員会の開催や情報システムのセキュリティ対策、職員対象の様々な研修の実施など、公益財団法人として適正な管理運営を行うとともに、フォーラム賛助会員の加入促進を行った。

1 理事会・評議員会の開催

2 情報システムのセキュリティ対策及び職員研修の実施

3 賛助会員加入の促進

III 令和4年度決算

1 貸借対照表(内訳表)

令和5年3月31日現在(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産	39,825,917	3,146,095	6,882,652	0	49,854,664
流動資産合計	39,825,917	3,146,095	6,882,652	0	49,854,664
2. 固定資産					
(1) 基本財産	164,672,887		164,672,886		329,345,773
基本財産合計	164,672,887		164,672,886		329,345,773
(2) その他固定資産	1,096,712		245,000		1,341,712
その他固定資産合計	1,096,712		245,000		1,341,712
固定資産合計	165,769,599		164,917,886		330,687,485
資産合計	205,595,516	3,146,095	171,800,538	0	380,542,149
II 負債の部					
1. 流動負債	11,055,097	3,146,095	405,768	0	14,606,960
流動負債合計	11,055,097	3,146,095	405,768	0	14,606,960
負債合計	11,055,097	3,146,095	405,768	0	14,606,960
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	161,583,048		161,583,047		323,166,095
指定正味財産合計	161,583,048		161,583,047		323,166,095
(うち基本財産への充当額)	161,583,048		161,583,047		323,166,095
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産	32,957,371	0	9,811,723		42,769,094
(うち基本財産への充当額)	3,089,839		3,089,839		6,179,678
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
正味財産合計	194,540,419	0	171,394,770		365,935,189
負債及び正味財産合計	205,595,516	3,146,095	171,800,538	0	380,542,149

2 正味財産増減計算書（内訳表）

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日（単位：円）

科 目	公益目的事業会計			その他の事業会計			法人会計	合 計
	日本及びアジア地域の女性の地位向上支援事業	男女共同参画社会の形成支援事業	小 計	北九州市大手町ビル維持管理事業	男女共同参画センター-公益目的外貸与事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	1,694,750		1,694,750				1,694,752	3,389,502
受取会費	278,250		278,250				278,250	556,500
事業収益	69,709		69,709					69,709
擬管職設置自主雑費収益		4,567,658	4,567,658					4,567,658
委託料収益	5,546,853		5,546,853					5,546,853
北九州市委託金収益	2,495,000	187,635,202	190,130,202	37,284,066	45,713,877	82,997,943	11,444,674	273,128,145
受取補助金等	27,555,326		27,555,326					39,000,000
雑収益	47,071	247,510	294,581				1,000	295,581
経常収益計	37,686,959	192,450,370	230,137,329	37,284,066	45,713,877	82,997,943	13,418,676	326,553,948
(2) 経常費用								
事業費用	35,577,406	191,045,472	226,622,878	37,284,066	45,713,877	82,997,943	13,418,676	309,620,821
管理費用								
経常費用計	35,577,406	191,045,472	226,622,878	37,284,066	45,713,877	82,997,943	13,418,676	323,039,497
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	2,109,553	1,404,898	3,514,451	0	0	0	0	3,514,451

IV 令和5年度事業計画

アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、これまで女性の地位向上及びジェンダー平等社会の形成に貢献するため、日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際協力・交流等の事業を実施するとともに、北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者としてさまざまな事業を展開してきた。

令和5年度においても、国連が定めた地球的目標である持続可能な開発目標（SDGs）の目標5（ジェンダー平等及び女性・少女のエンパワーメント）の観点を取り入れながら、「第4次北九州市男女共同参画基本計画」（以下「第4次基本計画」という）をも踏まえ、

- ① ジェンダー主流化
- ② 就業に関する女性のエンパワーメント（能力構築）
- ③ 固定的な男女の役割分担意識の解消
- ④ 若い世代へのジェンダー平等意識の啓発

など、ジェンダー問題の解決に向けた「市民をはじめ不特定多数の利益の増進に寄与する」公益目的事業を実施し、日本及び他のアジア諸国の女性の地位向上及びジェンダー平等社会の形成を推進する。

【公益I事業】 日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際協力・交流等を通じて女性の地位向上を図る事業

1 事業概要

日本及び他のアジア地域の女性の地位向上及びジェンダー平等社会の形成の推進を目的に、これまでの活動を活かし、各分野で多様な人々のニーズを的確に捉え、時宜にかなったテーマを選定して、調査・研究事業、交流・研修事業、情報収集・発信事業、国際研修など国際協力事業を実施する。

2 業務概要

(1) 調査・研究事業

客員研究員研究、KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動等によって、調査研究活動を充実させるとともに、プログラム開発、セミナーなどの開催を通じて、北九州市ひいては日本及び他のアジア諸国におけるジェンダー平等社会の実現に貢献する。

ア 客員研究員研究

外部の研究者を積極的に活用して客員研究員研究を実施する。SDGsを踏まえ、国際的な動向や視点から国内の課題を明らかにし、ジェンダー平等社会の実現に貢献する。

イ 研究成果の広報

(ア) 研究報告会の開催

(イ) 研究誌の刊行

ウ KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動

(ア) アジアジェンダー研究者によるセミナーの開催及びネットワーク活動

(イ) プログラム開発

(2) 交流・研修事業

「アジア女性会議—北九州」や国際セミナー等を開催する。また、市民とアジア諸国の市民との交流を通じて、ジェンダーに関する相互理解を深め、国際的視野を広げる。

海外のジェンダー関連組織との交流を進め、恒常的なネットワークの形成を目指す。

ア 「アジア女性会議－北九州」等の国際セミナーの開催

(ア) 第34回アジア女性会議－北九州

(イ) 国際理解促進事業

イ 海外拠点ネットワークの形成

国内外にあるジェンダー関連団体などと連携し、SDG目標5（ジェンダー平等および女性・少女のエンパワーメント）の達成を主としたネットワークの形成を目指す。

(3) 情報収集・発信事業

これまでの海外通信員事業を情報収集の要として刷新し、アジア・太平洋諸国を中心に、国連、各国政府、ジェンダー関連団体、国際協力団体、研究者など、これまで培ってきたネットワークをさらに広げ、情報収集活動を行う。それらの情報を基にした、ウェブニュースレター『Asian Breeze』を隔月にオンライン配信することで、さらに情報発信力を高め、関係組織と強固なネットワーク作りに努める。

(4) 国際研修事業

独立行政法人国際協力機構(JICA)九州センターが、開発途上国におけるジェンダー主流化の立案・推進が可能な行政官の育成を目的に実施する国際研修「行政官のためのジェンダー主流化政策2023」を受託し、当該研修を企画・実施する。

また、同様に、JICAの国別研修として、ブータンの女性と子どもの保護担当官を対象とした「女性と子どもの保護とケア研修」を受託し、当該研修を企画・実施する。

【公益Ⅱ事業】 男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を推進する事業

○ 指定管理事業

1 事業概要

KFAWは、北九州市立男女共同参画センターの指定管理者として管理運営を行っており、引き続き、男女共同参画推進の拠点施設として、男女共同参画等の推進、相談、情報事業等を展開していく。

2 業務概要

(1) 男女共同参画等推進事業

若い世代や働く女性、男性を中心に利用者層の拡大を図り、性別による固定的役割分担意識の解消、様々な分野での女性のエンパワーメント、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点も踏まえた生涯を通じた女性の健康支援、市民活動の支援や連携、相談事業等を展開し、市民に学習の場や能力構築の機会等を提供する。

ア 性別による固定的な役割分担意識の解消に関する事業

講演会などを通じ、広く市民に男女共同参画意識を啓発する機会を提供する。男女共同参画社会の実現には男性の理解・協力が不可欠のため、男性の家事への参画を促進する「おとこの魅力アップシリーズ」、「介護男子」、「父と子の食育」など男性を対象とした講座のさらなる充実を図る。また、若い世代への働きかけとして、高校生向けに男女共同参画意識の啓発に関する講座を実施する。

イ 女性のエンパワーメント事業

介護事務、医療事務、パソコンなど、就業に関するスキルの向上を通じ、女性のエンパワーメントや再就職を支援する講座の充実を図る。企業で働く女性のキャリアアップを支援する市の講座の修了生を対象に、フォローアップを図るセミナーの開催やネットワークづくりを支援する。また、学生の卒業後の働き方や自己実現のために開発した「大学生のためのキャリア形成プログラム」を活用した出前講座を実施する。さらに、様々な分野での女性リーダーの育成を支援するための講座を開催する。

ウ 生涯を通じた女性の健康支援事業

女性の多様な活動を支えるために、性と生殖に関する正しい理解を促す知識の習得の機会を提供する講座を開催する。また、生涯を通じた心と身体の健康を、日常生活の中で自分の力で維持促進できるよう、知識や技術の習得の機会を提供する。さらに、産前・産後、育児期間の女性が心身ともに健康で過ごせるよう環境づくりを支援し、自分らしく生き生きと過ごすために心身ともにリフレッシュする講座を実施する。

エ ムーブフェスタ

開館以来続くムーブの中核事業である「ムーブフェスタ 2023」については、引き続き市民の自主的な研究発表・実践活動を積極的に支援し、市民による企画事業を中心とした各種イベント等を実施するとともに、市民や市民グループの交流・連携を促進して市民活動の活性化を図る。

(2) 相談事業

男女の心の問題や生き方、性別による人権侵害、夫婦の問題等について、ムーブ相談員・臨床心理士・弁護士等が、電話や面談、メールで相談を受ける。また、新たに個別相談ではカバーできない、当事者同士（DV・ハラスメント被害や生きづらさを抱えた方）の横のつながりの機会を提供するためにグループ相談（あったかサロン）を試行開設する。さらに、相談から見えてくる課題を踏まえ、離婚に関する法律基礎講座や女性への暴力ゼロ特別講座、福岡県弁護士会との共催で「女性の権利ホットライン（2回/年）」、啓発事業を実施する。

(3) 情報収集・発信事業

ジェンダー問題に関する国内外の図書・資料の充実を図るとともに、市民・研究者を対象に、ジェンダー問題調査・研究支援事業を実施する。

また、ホームページやフェイスブック、インスタグラムにより、男女共同参画に関する講座や事業に関する情報提供の充実を図る。情報誌『ムービング』を発行し、男女共同参画に関するさまざまな情報を広い読者層に向けて発信する。

また、令和5年度は北九州市の男女共同参画統計データ集を作成する。

(4) 管理事業

北九州市立男女共同参画センターの施設・設備について、環境に配慮しながら充実を図るとともに、より円滑な管理運営に努め、安全で快適な施設を提供する。

市民や団体等の自主的な活動の場として、施設の設置条例等に基づき、施設の貸与を行う。

○自主事業

男女共同参画社会の形成と個人の能力向上及び就業支援を目的に、受講料等を徴収し、資格取

得・能力向上等を目指す講座や検定試験等を実施する。

【その他事業Ⅰ】 北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外の部分）

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検、修繕などの維持管理を行う。

また、施設の維持管理等に関して、ビルの入居団体との連絡・調整を行う。

【その他事業Ⅱ】 北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業

北九州市立男女共同参画センターにおいて、指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行う。

【法人事業】

以上の事業を適正に推進するため、評議員会・理事会の開催をはじめ、法人の管理・運営のための業務を行う。

V 令和5年度予算

収支予算書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日 (単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	1,664,000		1,664,000	3,328,000
受取業収益	290,000		290,000	580,000
指定管理施設自主事業費収益	200,000			200,000
委託料収益	9,461,000			9,461,000
北九州市委託金収益	7,168,000			7,168,000
受取補助金等	221,984,000	47,703,000		269,687,000
雑収益	29,453,000		9,547,000	39,000,000
経常収益計	270,220,000	47,703,000	11,541,000	329,464,000
(2) 経常費用				
事業管理費	270,720,000	47,703,000		318,423,000
経常費用計	270,720,000	47,703,000	13,737,000	332,160,000
当期経常増減額	▲ 500,000	0	▲ 2,196,000	▲ 2,696,000
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0

(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 500,000	0	▲ 2,196,000	▲ 2,696,000	
一般正味財産期首残高	29,383,685	0	9,811,723	39,195,408	
一般正味財産期末残高	28,883,685	0	7,615,723	36,499,408	
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	161,583,048	0	161,583,047	323,166,095	
指定正味財産期末残高	161,583,048	0	161,583,047	323,166,095	
III 正味財産期末残高	190,466,733	0	169,198,770	359,665,503	

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和5年7月1日現在

役職名	氏名	備考
理事長	堀内光子	公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム理事長
専務理事	小石佐織	北九州市立男女共同参画センター所長
理事	秋月弘子	亜細亜大学教授
〃	大島まな	九州女子大学教授
〃	小川健一郎	公益財団法人大阪YMCA代表理事
〃	北野久美	北九州市保育士会会長
〃	湯浅壘道	明治大学教授
〃	渡邊典子	弁護士
監事	野中宏之	株式会社福岡銀行常務執行役員北九州代表兼本部長
〃	吉村知泰	北九州市会計室長

2 市との特命随意契約の状況（令和4年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約 の場合その理由
ジェンダー平等の実現に向けた調査・研究業務委託	2,495	国や世界の男女共同参画に関する深い見識及び本市の男女共同参画の状況についての理解が要求されるため。	調査票のデータ処理・集計表等作成に係る作業	838	(株)東京商工リサーチ北九州支店	随意契約（見積合せ）	
SNS等を活用した若年女性対策強化事業	4,552	ムーブ相談室の機能強化が目的であること、また既存相談業務と一体的に履行することで業務を円滑に行い課題分析を効率的・効果的に実施できるため。	LINE相談システムパッケージ	869	エースチャイルド(株)	随意契約（見積合せ）	複数見積提出を依頼したが、有資格者の相談員派遣が可能な事業者が1社のみだったため
			追加配備相談員の派遣業務	2,646	マンパワーグループ(株)	随意契約（特命）	
合計	7,047		合計	4,353			